

1年生 学年通信 12月号

令和元年11月27日

12月の行事予定

1	日		17	火	
2	月	期末テスト 地区清掃	18	水	保護者懇談会
3	火	人権集会	19	木	保護者懇談会
4	水	専門委員会	20	金	保護者懇談会
5	木		21	土	
6	金	生徒会立会演説会・役員選挙	22	日	
7	土		23	月	保護者懇談会
8	日		24	火	①②授業③終業式④学活
9	月		25	水	冬季休業日
10	火	校内面接練習〔3年〕	26	木	
11	水		27	金	
12	木	大掃除	28	土	
13	金	あいさつ運動 生徒集会	29	日	
14	土		30	月	
15	日	カブトガニ駅伝大会	31	火	
16	月				

1月8日〔水〕始業式・学活・課題テスト〔給食あり〕

地区清掃について

2日〔月〕に各地区に分かれて、地区清掃を行います。私たちは、この活動を通じて、生徒の皆さんにこう育ってほしいと願っています。

- ①この日、奉仕活動に一生懸命に取り組むことができること。
- ②「やればいい」のではなく、「どうやるか」に課題がもてるようになること。
- ③別の場面・別の場所でも、自分のボランティア精神が発揮されること。

みなさん頑張ってください。

生徒会役員選挙について

「生徒会役員に向けた人がやる」必ずしもそうではありません。「立場が人を変える」という言葉があるように、「自分を変えたい」と思っている人が、こういう機会を通じて、自分を変えていくために立候補するのも意味があることなのです。そしてぼくたちは、そんな気持ちを応援できる集団でありたいと思っています。



体育館の準備



10月の土曜参観日・教育講演会のために、1ABでシート張り、イス出しなど、体育館の設営に着手しました。

①やればいいのじゃない。いかに短い時間で、いかに効率良くやるかだ。

②会場図2枚しか与えない。〔役割分担など自分たちで考える〕

会場図2枚を誰が取り、その人を中心に、みんなにどう伝えていくか、そしてどうリーダーに協力していくかが効率の良さの鍵となります。こ

の条件下で、生徒たちは見事に教師の期待に応えてくれました。

先生に「〇〇くん、△△を××に持って行って！」と言われれば、誰でもできます。人に言われなくても、自分で仕事を探して動けること、その作業にそれだけの人数が必要かを考えることなどがこの作業の課題です。動ける集団・考えられる集団を感じた時間でした。

これは、どこの誰に見られても、自慢のできる動きです。

学年部行事ありがとうございました。



保護者の皆様からも約70名ご参加いただきました。生徒の皆さんは、集合時刻の3分前には集合が完了し、早く始めることができました。また、「どこを向いて」「何を基準に」「どういう隊形で」など、何の指示もなく、しかもこちらの意図通りに並ぶことができました。これも、生徒のみなさんが、今まで学習してきたことをもとに、集団が考えた結果だと思うのです。素晴らしいことです。感心しました。この2学期間で集団力が

格段にアップしたと思います。保護者の皆様も、生徒たちが楽しめるよう、素敵な雰囲気を作ってください、大変ありがとうございました。

最後になりましたが、早くから企画会議を開き、また運営に携わってくださった学年委員のみなさま、本当にありがとうございました。

保護者懇談会よろしくお願いします。

個人懇談会としては、今年度最後となります。〔3学期は、年度末に学年懇談会を行う予定です〕「学校から提供されることを聞きに行く」もちろんそれもありましようが、できるだけ、ご家庭の方から、提案や質問や相談などが展開されるようにご準備ください。

お願いします。～期末テストに向けて～

明日から期末テストが始まります。迫るテストにただ臨むだけでは、自分が理想とする成果にたどりつきにくいのが中学校のテストです。やはり対策と工夫が必要です。お子様に質問したとき、今回のテストへの対策と工夫が、言葉で即座に返ってくるでしょうか。

また、期末テストが終わると、各教科の提出物が待っています。部によっては、きちんと提出物を提出していないと、活動をさせてもらえないところもあります。部活動は教育活動の一環ですが、一方では社会の仕組みの中の「競争」という部分も存在します。レギュラーを争う、登録メンバーを争う…、この競争の部分は、2年生になって、自分の後輩ができた時、後輩に抜かされた自分に気づいて初めて大事であることを知るのではなく、そうなる前に気付いてほしいことです。